

時代は再生可能エネルギーへ

IEA (International Energy Agency)の変身

IEA (国際エネルギー機関)が2013年の報告書で、再生可能エネルギー（水力、太陽光、地熱、バイオ燃料、風力）の発電量が2016年にガス火力を上回り（原子力発電の2倍）2018年までに世界の発電量の25%を占めると発表しました。IEAは2008年の報告書“World Energy Outlook”では2030年で2%と予測していました。

再生可能エネルギーはなぜ増えるの？

- 1 設備を一度設置すれば燃料がいりません
- 2 使用済核燃料、排気ガスなどを出しません
- 3 放射能で生物や人体の遺伝子を破壊しません
- 4 新設期間が短く、撤去が容易です

原発はなぜ減るの？

- 1 廃炉や放射能ゴミ管理に莫大な時間と費用が発生
- 2 放射能で生物や人体の遺伝子を破壊し殺します
- 3 新設30年、廃炉100年、ゴミ処理10万年必要です
- 4 放射能除去技術がなく無害化できません

再生可能エネルギーは安くてきれいで 原発は危険で高くて汚いエネルギー

2013年 主役は再生可能エネルギーへ

- ★スペイン 風力発電だけで全家庭の消費電力を発電
- ★ドイツ、アメリカ 再生可能エネルギーが原発を抜く
- ★中国、風力発電大国 累積75GW（原発75基分）設置
- ★発展途上国に太陽光、風力発電拡大
- 発展途上国は建設・維持・廃棄・ゴミ管理に莫大な費用がかかり、水を大量に使う原発を拒否。現在、アジアアフリカ諸国に風力発電、太陽光発電が拡大して活躍中
- 原発を望んでいる国は**核武装**したい国だけです。

ドイツ企業が巨大メガソーラー建設



ドイツの太陽光発電会社Photovolt Development Partnersが長崎五島列島の宇久島（佐世保市）に475MWのメガソーラーを建設。宇久島は面積約25km²の起伏のある島でメガソーラーと50km東に離れた本土との間を高電圧直流送電ケーブルで接続し、九州電力に売電する計画です。ドイツは太陽光発電の、現在販取価格は17ユーロセント（1ユーロ130円換算で、22.1円）。Photovolt Development Partnersはドイツよりも販取価格の高い日本で投資を決断しました。日本で太陽光発電すると儲かります！

同社は北海道、宮城、福島、栃木、千葉、滋賀、広島、熊本などでもメガソーラーを建設。2014年から2015年にかけて送電を開始する計画です。合計925MWのメガソーラーを日本に建設します。

日本の太陽光投資世界1位2兆円

ドイツの会社が日本にきて投資しても儲かるのに日本の会社や個人が黙ってみているわけがありません。今太陽光発電設置の空前のブームが起こっています。2013年に日本国内に新規導入される太陽光発電量は12年比2・2倍の5.3GW（原発5基分）、日本は設置費用が高いため、これに要する合計投資金額は198億ドル（約1兆9100億円）でドイツを抜いて世界1位になりました。

お金が儲かれば日本もできる太陽光発電設置！ 3kw設置で毎月1万円以上稼げます。

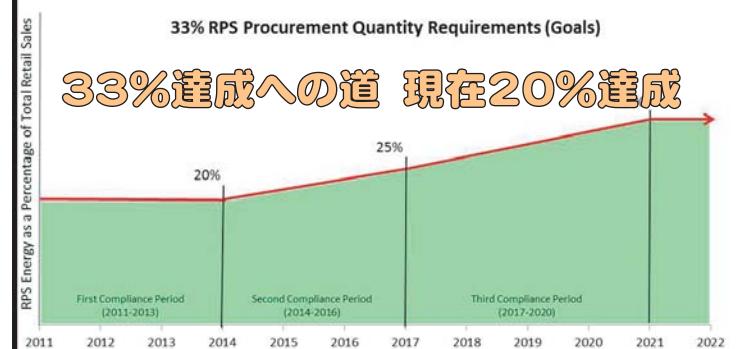
（稼げる金額は気象、設置家屋の状態、パネル性能、施工会社の技術などで左右されるので参考まで）

太陽光パネルは一度設置すれば 燃料なくても発電を長期間続けます

カリiforniaの選択

2011年4月12日カリifornia州で新たな法案が成立しました。
「2020年までに電力の33%を再生可能エネルギーで供給する」

To the Members of the California State Senate: April 12, 2011
I am signing Senate Bill 2 (First Extraordinary Session) which will extend the current 20% renewables portfolio standard target in 2010 to a 33% renewables portfolio standard by December 31, 2020.
Edmund G. Brown Jr.



損害賠償請求される原発製造会社

2012年1月に放射能漏れ事故を起こした、カリifornia州南部にあるサンオノフレ原発について、所有する米サザン・カリifornia・エジソン電力会社は2013年6月7日「**廃炉にする**」と発表しました。また事故原因の蒸気発生器製造メーカー三菱重工に対し損害賠償請求を行い、三菱はすでに賠償の一部として数十億円を支払いました、今後追加で廃炉費用数百億～数千億円が三菱重工に請求されます。これによって今後原発を輸出すると製造メーカーは莫大な損害賠償請求がされることが明確になりました。

米原子力規制委員会（NRC）は2012年1月の事故後、公聴会を何度も開き1000人以上の市民が熱心に参加しました。三菱重工神戸造船所へも現地調査に入り、製品の欠陥隠しや三菱とのやりとりメールなどをWEB上で公開し議論を尽くして廃炉が決定されました。カリifornia市民は原発製造メーカー三菱重工に責任をとらせました。



日本では原子力損害賠償責任法で原子炉メーカーは免責され、福島で事故を起こした原発製造メーカーGE、日立、東芝は1円も損害賠償をしていません 「**利益はメーカーへ、損失は国民が負担**」になっています。カリiforniaと同じように製造メーカーに損害賠償請求を行い責任をとらせましょう。

2012年5月 ドイツ太陽光で 2.2GW発電

ドイツは2011年から再生可能エネルギーが原子力発電よりも多くなり、2012年には、さらにその差は大きく広がりました。（原発16%、再生可能エネルギー22%）また2011年までの太陽光発電量でも記録を更新中で、2010年7月に達しています。年までの太陽光発電量は33GW（原発33基分）に達しています。2011年7月に設置されています。2012年7月に設置されています。2013年7月に設置されています。2014年7月に設置されています。2015年7月に設置されています。2016年7月に設置されています。2017年7月に設置されています。2018年7月に設置されています。2019年7月に設置されています。2020年7月に設置されています。2021年7月に設置されています。2022年7月に設置されています。2023年7月に設置されています。2024年7月に設置されています。2025年7月に設置されています。2026年7月に設置されています。2027年7月に設置されています。2028年7月に設置されています。2029年7月に設置されています。2030年7月に設置されています。2031年7月に設置されています。2032年7月に設置されています。2033年7月に設置されています。2034年7月に設置されています。2035年7月に設置されています。2036年7月に設置されています。2037年7月に設置されています。2038年7月に設置されています。2039年7月に設置されています。2040年7月に設置されています。2041年7月に設置されています。2042年7月に設置されています。2043年7月に設置されています。2044年7月に設置されています。2045年7月に設置されています。2046年7月に設置されています。2047年7月に設置されています。2048年7月に設置されています。2049年7月に設置されています。2050年7月に設置されています。2051年7月に設置されています。2052年7月に設置されています。2053年7月に設置されています。2054年7月に設置されています。2055年7月に設置されています。2056年7月に設置されています。2057年7月に設置されています。2058年7月に設置されています。2059年7月に設置されています。2060年7月に設置されています。2061年7月に設置されています。2062年7月に設置されています。2063年7月に設置されています。2064年7月に設置されています。2065年7月に設置されています。2066年7月に設置されています。2067年7月に設置されています。2068年7月に設置されています。2069年7月に設置されています。2070年7月に設置されています。2071年7月に設置されています。2072年7月に設置されています。2073年7月に設置されています。2074年7月に設置されています。2075年7月に設置されています。2076年7月に設置されています。2077年7月に設置されています。2078年7月に設置されています。2079年7月に設置されています。2080年7月に設置されています。2081年7月に設置されています。2082年7月に設置されています。2083年7月に設置されています。2084年7月に設置されています。2085年7月に設置されています。2086年7月に設置されています。2087年7月に設置されています。2088年7月に設置されています。2089年7月に設置されています。2090年7月に設置されています。2091年7月に設置されています。2092年7月に設置されています。2093年7月に設置されています。2094年7月に設置されています。2095年7月に設置されています。2096年7月に設置されています。2097年7月に設置されています。2098年7月に設置されています。2099年7月に設置されています。2000年7月に設置されています。2001年7月に設置されています。2002年7月に設置されています。2003年7月に設置されています。2004年7月に設置されています。2005年7月に設置されています。2006年7月に設置されています。2007年7月に設置されています。2008年7月に設置されています。2009年7月に設置されています。2010年7月に設置されています。2011年7月に設置されています。2012年7月に設置されています。2013年7月に設置されています。2014年7月に設置されています。2015年7月に設置されています。2016年7月に設置されています。2017年7月に設置されています。2018年7月に設置されています。2019年7月に設置されています。2020年7月に設置されています。2021年7月に設置されています。2022年7月に設置されています。2023年7月に設置されています。2024年7月に設置されています。2025年7月に設置されています。2026年7月に設置されています。2027年7月に設置されています。2028年7月に設置されています。2029年7月に設置されています。2030年7月に設置されています。2031年7月に設置されています。2032年7月に設置されています。2033年7月に設置されています。2034年7月に設置されています。2035年7月に設置されています。2036年7月に設置されています。2037年7月に設置されています。2038年7月に設置されています。2039年7月に設置されています。2040年7月に設置されています。2041年7月に設置されています。2042年7月に設置されています。2043年7月に設置されています。2044年7月に設置されています。2045年7月に設置されています。2046年7月に設置されています。2047年7月に設置されています。2048年7月に設置されています。2049年7月に設置されています。2050年7月に設置されています。2051年7月に設置されています。2052年7月に設置されています。2053年7月に設置されています。2054年7月に設置されています。2055年7月に設置されています。2056年7月に設置されています。2057年7月に設置されています。2058年7月に設置されています。2059年7月に設置されています。2060年7月に設置されています。2061年7月に設置されています。2062年7月に設置されています。2063年7月に設置されています。2064年7月に設置されています。2065年7月に設置されています。2066年7月に設置されています。2067年7月に設置されています。2068年7月に設置されています。2069年7月に設置されています。2070年7月に設置されています。2071年7月に設置されています。2072年7月に設置されています。2073年7月に設置されています。2074年7月に設置されています。2075年7月に設置されています。2076年7月に設置されています。2077年7月に設置されています。2078年7月に設置されています。2079年7月に設置されています。2080年7月に設置されています。2081年7月に設置されています。2082年7月に設置されています。2083年7月に設置されています。2084年7月に設置されています。2085年7月に設置されています。2086年7月に設置されています。2087年7月に設置されています。2088年7月に設置されています。2089年7月に設置されています。2090年7月に設置されています。2091年7月に設置されています。2092年7月に設置されています。2093年7月に設置されています。2094年7月に設置されています。2095年7月に設置されています。2096年7月に設置されています。2097年7月に設置されています。2098年7月に設置されています。2099年7月に設置されています。2000年7月に設置されています。2001年7月に設置されています。2002年7月に設置されています。2003年7月に設置されています。2004年7月に設置されています。2005年7月に設置されています。2006年7月に設置されています。2007年7月に設置されています。2008年7月に設置されています。2009年7月に設置されています。2010年7月に設置されています。2011年7月に設置されています。2012年7月に設置されています。2013年7月に設置されています。2014年7月に設置されています。2015年7月に設置されています。2016年7月に設置されています。2017年7月に設置されています。2018年7月に設置されています。2019年7月に設置されています。2020年7月に設置されています。2021年7月に設置されています。2022年7月に設置されています。2023年7月に設置されています。2024年7月に設置されています。2025年7月に設置されています。2026年7月に設置されています。2027年7月に設置されています。2028年7月に設置されています。2029年7月に設置されています。2030年7月に設置されています。2031年7月に設置されています。2032年7月に設置されています。2033年7月に設置されています。2034年7月に設置されています。2035年7月に設置されています。2036年7月に設置されています。2037年7月に設置されています。2038年7月に設置されています。2039年7月に設置されています。2040年7月に設置されています。2041年7月に設置されています。2042年7月に設置されています。2043年7月に設置されています。2044年7月に設置されています。2045年7月に設置されています。2046年7月に設置されています。2047年7月に設置されています。2048年7月に設置されています。2049年7月に設置されています。2050年7月に設置されています。2051年7月に設置されています。2052年7月に設置されています。2053年7月に設置されています。2054年7月に設置されています。2055年7月に設置されています。2056年7月に設置されています。2057年7月に設置されています。2058年7月に設置されています。2059年7月に設置されています。2060年7月に設置されています。2061年7月に設置されています。2062年7月に設置されています。2063年7月に設置されています。2064年7月に設置されています。2065年7月に設置されています。2066年7月に設置されています。2067年7月に設置されています。2068年7月に設置されています。2069年7月に設置されています。2070年7月に設置されています。2071年7月に設置されています。2072年7月に設置されています。2073年7月に設置されています。2074年7月に設置されています。2075年7月に設置されています。2076年7月に設置されています。2077年7月に設置されています。2078年7月に設置されています。2079年7月に設置されています。2080年7月に設置されています。2081年7月に設置されています。2082年7月に設置されています。2083年7月に設置されています。2084年7月に設置されています。2085年7月に設置されています。2086年7月に設置されています。2087年7月に設置されています。2088年7月に設置されています。2089年7月に設置されています。2090年7月に設置されています。2091年7月に設置されています。2092年7月に設置されています。2093年7月に設置されています。2094年7月に設置されています。2095年7月に設置されています。2096年7月に設置されています。2097年7月に設置されています。2098年7月に設置されています。2099年7月に設置されています。2000年7月に設置されています。2001年7月に設置されています。2002年7月に設置されています。2003年7月に設置されています。2004年7月に設置されています。2005年7月に設置されています。2006年7月に設置されています。2007年7月に設置されています。2008年7月に設置されています。2009年7月に設置されています。2010年7月に設置されています。2011年7月に設置されています。2012年7月に設置されています。2013年7月に設置されています。2014年7月に設置されています。2015年7月に設置されています。2016年7月に設置されています。2017年7月に設置されています。2018年7月に設置されています。2019年7月に設置されています。2020年7月に設置されています。2021年7月に設置されています。2022年7月に設置されています。2023年7月に設置されています。2024年7月に設置されています。2025年7月に設置されています。2026年7月に設置されています。2027年7月に設置されています。2028年7月に設置されています。2029年7月に設置されています。2030年7月に設置されています。2031年7月に設置されています。2032年7月に設置されています。2033年7月に設置されています。2034年7月に設置されています。2035年7月に設置されています。2036年7月に設置されています。2037年7月に設置されています。2038年7月に設置されています。2039年7月に設置されています。2040年7月に設置されています。2041年7月に設置されています。2042年7月に設置されています。2043年7月に設置されています。2044年7月に設置されています。2045年7月に設置されています。2046年7月に設置されています。2047年7月に設置されています。2048年7月に設置されています。2049年7月に設置されています。2050年7月に設置されています。2051年7月に設置されています。2052年7月に設置されています。2053年7月に設置されています。2054年7月に設置されています。2055年7月に設置されています。2056年7月に設置されています。2057年7月に設置されています。2058年7月に設置されています。2059年7月に設置されています。2060年7月に設置されています。2061年7月に設置されています。2062年7月に設置されています。2063年7月に設置されています。2064年7月に設置されています。2065年7月に設置されています。2066年7月に設置されています。2067年7月に設置されています。2068年7月に設置されています。2069年7月に設置されています。2070年7月に設置されています。2071年7月に設置されています。2072年7月に設置されています。2073年7月に設置されています。2074年7月に設置されています。2075年7月に設置されています。2076年7月に設置されています。2077年7月に設置されています。2078年7月に設置されています。2079年7月に設置されています。2080年7月に設置されています。2081年7月に設置されています。2082年7月に設置されています。2083年7月に設置されています。2084年7月に設置されています。2085年7月に設置されています。2086年7月に設置されています。2087年7月に設置されています。2088年7月に設置されています。2089年7月に設置されています。2090年7月に設置されています。2091年7月に設置されています。2092年7月に設置されています。2093年7月に設置されています。2094年7月に設置されています。2095年7月に設置されています。2096年7月に設置されています。2097年7月に設置されています。2098年7月に設置されています。2099年7月に設置されています。2000年7月に設置されています。2001年7月に設置されています。2002年7月に設置されています。2003年7月に設置されています。2004年7月に設置されています。2005年7月に設置されています。2006年7月に設置されています。2007年7月に設置されています。2008年7月に設置されています。2009年7月に設置されています。2010年7月に設置されています。2011年7月に設置されています。2012年7月に設置されています。2013年7月に設置されています。2014年7月に設置されています。2015年7月に設置されています。2016年7月に設置されています。2017年7月に設置されています。2018年7月に

原発神話の崩壊！

原発は5重の壁で守られ
地面にどつしり建ってます



どつしり建ってた原発
廃炉に数百年以上？？



「原子力明るい未来のエネルギー」福島県双葉町入口にかかる看板。1987年に当時小六だった大沼さんがコンクールで選ばれ設置された。事故後、大沼さんは身重の妻と愛知県へ避難「脱原発」を確信した思いを子どもに伝えたいと、一時帰宅した際、自ら標語を「破滅」と訂正した。大沼さんは「原発事故で故郷を奪われることが二度とあってはならない。日本に原発はいらない」と話した。*東京新聞2012年7月18日

昔日本軍、今原子カムラ

戦艦大和

戦艦大和 1億4770万円
国の歳入13億の11%

ゼロ戦 1機18万円
大和=ゼロ戦820機
零戦

お金使い放題	
4.0代国	1にの
6兆年造入	62建歳
円歳費(1)	(1)19
4兆億円(1)	2537
↓113億	113
1%の	1%
II 2時	II 2時

戦場の主役が航空機になっていた時代に日本は大艦巨砲主義を変えず、歳入の11%のお金を使って戦艦大和を建造していました。戦艦にお金を使ったためゼロ戦など航空機の予算がなくなり、制空権を失った日本本土にはB29が毎日のように爆弾を落とし日本は焼け野原になりました。そして莫大な税金を使つた大和は戦果をあげることもなく海の藻屑となって消えました。

もんじゅ 1兆円 (28万kW)
六力所 3兆円

核燃サイクルで
国家破産！

太陽電池 40万円/kW
1兆円=250万kW設置

発電の主役が再生可能エネルギーになり原発が歴史から消えることが明確になった2013年、日本は時代に逆行し原子力推進政策を続けています。かつてゼロ戦を作らず戦艦大和を作り敗戦した日本軍のようにもんじゅや再処理に途方もないお金を使つて太陽光風力などの予算は削り、莫大な税金を注いだもんじゅ、六力所はトラブルの連続で運転することすらなく戦艦大和のように何の成果もあげず漂っています。日本の国土に残る放射能汚染は10万年たたないと無害にはなりません。

もんじゅとやまと

戦艦大和は停止中でも1日60t重油を使つて
もんじゅは停止中でも1年200億円お金を使つて
成果は何も生み出さずに終わりました。

2035年 日本列島は放射性廃棄物処理場に！

南海トラフ地震、東海地震、関東大震災が50年以内に起こると予想されています。原発は地震や津波に耐えられるでしょうか？

フクイチの事故で原子炉本体より使用済燃料保管施設が危険なことがわかりました。日本中に保管されている使用済燃料は1万5千トン、10万年管理が必要です。もし地震や津波で冷却機能が失われれば致命的な核汚染が起こります。

地震多発国で放射能消去技術もないまま原発を動かし放射能を製造し続けてもいいのでしょうか？原発は未来を奪い、希望を奪います。

原発震災により2035年には日本の海、山、川は大量の放射能で汚染され農業、漁業、工業は壊滅し世界中の放射性廃棄物を引き受け生きて生きるしかないなんて未来がいいですか？

日本が生き残る道は原発即時廃炉放射能との決別しかありません！

高速増殖炉もんじゅ
日本原電 敦賀1~2号 580t

関西電力 美浜1~3号 390t
大飯1~4号 1400t
高浜1~4号 1180t

北陸電力 志賀1.2号 150t

中国電力 島根1.2号 390t

九州電力 川内1.2号 870t

東京電力 柏崎刈羽1~7号 2300t

東北電力 東通1号 100t

東北電力 女川1~3号 420t

東京電力 福島第一5.6号 1960t

東京電力 福島第二1~4号 1120t

中部電力 浜岡3~5号 1140t

日本原子力発電 東海第二 370t

地図上の記号説明

●原子力発電所 ■再処理工場 ☰ 使用済燃料トン

北アメリカプレート

100万kWの原発を1年間運転すると使用済み燃料を30トン製造する。含まれるセシウム137の量は広島原爆1000発分

■100万kW原発1基が1年間で製造するCs137量=広島原爆の1000倍
111兆×1000=11.1京ベクレル

■ Chernobyl事故で放出されたCs137量=9.25京ベクレル

■広島原爆のCr137量=111兆ベクレル

使用済み核燃料に含まれる主な放射性物質

核種人の摂取限度比較倍数
Cs134 820億倍
Cs137 510億倍
Pu239 2.5兆倍
Pu241 20兆倍
Sr90 9800億倍
Am241 2.5兆倍
総量 60兆倍

食べれば直ちに影響が出ます！

使用済燃料乾式キャスク

1基=約3200本の使用済燃料棒

1本=72本=184kg

1トン=約400本（使用済燃料）
大飯原発1400トン=56万本

三菱重工

関西電力

中部電力

東京電力

独立行政法人日本原子力研究開発機構

正力松太郎

中曾根康弘（第71・72・73代）

原子力ムラ

連合JTUC

経済産業省

誰が日本を放射能汚染した！

利権を戻す。

日本は原発で破産する!!

原発のコスト

1. 発電コスト 資本、燃料、運転、保守費用
2. バッグエンドコスト 廃棄物処理、廃炉、再処理費用
3. 社会的費用（以下税金で国民に負担させている）
政策費用（補助金、交付金等）研究開発費 立地対策費
事故費用 事故収束費用 損害賠償費用 地域再生費用

あなたは毎月、原子カムラに千円以上お金を盗されています

毎月支払っている電気代の中に3つの税金が隠されています。

1. 電源開発促進税 100kWあたり37.5円 1世帯400円位
2. 再処理積立金 電促税+α 1世帯400円位
3. 事故賠償金 福島事故後に開始、今後増大1世帯200円？

そして今後電気代から徴収されるのが

4. 廃炉費用 原発の廃炉費用は新設より高く、電力会社は電気代の中に入れて徴収する計画です。1世帯千円以上？

そして毎月の電気代明細書には、これらの原発税金記載は一切せず「再生可能エネルギー一部課金」のみが目立つように書かれています。電気代を高くしているのは再生可能エネルギーだと宣伝して洗脳するために！本当の泥棒は原発です。

福島事故後、政府は損害額を試算し事故は5年で終わり、5年後にはゼロになるとしました。5年間の合計が6兆8500億円。5年後にはゼロになる根拠は阪神淡路大震災が例です。放射能汚染のない地震の復興と汚染の影響が100年以上続く原発事故を同じに扱うのは最初から無理があり、2年目で事故収束費用のみでで1兆円のお金を使っています。賠償費用を含めれば2年で10兆円がすぐに消え、今後100兆でも足らないと予想できます。いくらお金をかけても技術的に放射能を除去するのは不可能でそれらの原子カムラが浪費したお金も全部国民に回されます。

事故が起きても電力会社も株主も1円の負担もせず、全部税金で国民に回す。

利益は原子カムラへ
損害は国民へ
それが原発です。



1957年に起きた英原子炉火災事故は50年後でも放射能が高く近づくこともできません。事故後2年が経過し毎時100mSvの放射能汚染水が漏れ続ける福島事故が100年位で収束できるのか？その費用はいくらかかるのか？

原子カムラ栄えて家計も國も破産！

未来は怒っている！

1Wの電気を発電するわけでもなく、ただ放射能を出し続け冷やし続けなければいけない使用済み核燃料。こんなものを未来に残してくれと誰がいったんだ！

100万年管理が必要なゴミを100年も生きない人間が、どうして作ったんだ！未来の誰がそんなゴミを残してくれと頼んだ！

生まれた時から放射能汚染された食べ物と工業製品と大地と川と海で育ち、一生原発の廃炉作業をしたいと未来の誰が望んだ！

福島の事故で原発なんて破滅するだけの核爆弾だって誰でもわかったのに、廃炉を遅らせ、原発を再稼働し、放射能を作り続け、南海トラフ地震で伊方と浜岡が壊れ、津波で福井の原発が爆発し、日本全体が20mSvを越える放射性廃棄物の島になった、

生きていくには外国に移住するしかない

そんな放射能汚染の島に誰がしたんだ！

子どもは原子カムラの犠牲になるために生まれてくるわけではない。原子カムラは

未来を返せ！
責任をとれ！

命を未来へつなぐなら、電気は再生可能エネルギーで100%作り、放射能製造工場（原発）とは決別するしかない。世界は破滅を運び水を汚染する原発など望んでいない。もし日本が原発輸出ではなく太陽光や風力発電を輸出する国なら、どんなに世界中の人々から喜ばれるだろう、原発輸出はお金と軍隊が好きな人殺しの権力者が喜ぶだけだ。原発推進とは

いのちを殺し、お金をどぶ捨てする政策です。